

東日本大震災復興支援活動

「ハートマーク♥ビューイング」～被災地に笑顔をとどけよう～

- 1 日 時 平成 23 年 12 月 17 日（土）9:00～12:00 （受付 8:30～）
- 2 会 場 本校 美術教室（特別教室棟 2 階）
- 3 参加者 近隣中学校の生徒 9 名
- 4 指導者 加古川西高等学校 美術教師
- 5 協力者 加古川西高等学校 美術部生徒 7 名
- 6 目 的

今回はこの加古川の地から、私たちの被災地を想う気持ちをカタチにして、東北へ届けたい、そんな思いでこの活動をスタートしました。「ハートマーク」は「愛」、「気持ち」、「こころ」をイメージする形です。また多くの方が親しみを感じる形でもあります。そのカタチの特性を生かして、私たちの気持ちを目に見える形とし、被災地の方々が笑顔になれば嬉しいです。

7 活動報告

年の瀬も迫る 12 月 17 日（土）に、本校美術教室にて、本校のインスパイア・ハイスクール事業で、東日本大震災復興支援活動「ハートマーク♥ビューイング」を開催しました。これは本校美術部が 8 月に東播磨生活創造センターで行った活動を、中学生と共に行おうということで、近隣の中学校に案内し、中学生 9 名が参加しました。制作指導を本校美術教師が、アシスタントを本校美術部生徒 7 名が務め、中学生との交流をはかりました。主な活動内容は以下のとおりです。

- (1) 自己紹介
- (2) 西高紹介
- (3) 前回ワークショップの紹介（H23.8.20 東播磨生活創造センター「かこむ」にて）
- (4) 制作手順の説明
- (5) 制作（50 cm 四方の布に、ハートマークをあしらったパッチワークを制作します。）
- (6) メッセージ記入（最後にパッチワークの裏面にメッセージを書き入れます。）
- (7) 作品鑑賞、記念写真撮影

活動の様子



8 まとめ

「“アート”を通して、人が集い、人がつながる。」そんな実感が持てた貴重な時間でした。被災地を思う気持ちは、高校生であっても中学生であっても同じであり、パッチワーク裏に書き込まれたメッセージから日本人としての強さ、つながりを感じ取ることができました。それぞれが制作したパッチワークは被災地の仮設住宅に送り届けられる予定です。私たちの思いが被災者の方々に少しでも伝わり、そして一人でも多くの方々が笑顔になり、復興に向けての大きな原動力となることを願っています。